

ちょっと気になる八王子マガジン

# は ちと ぴ

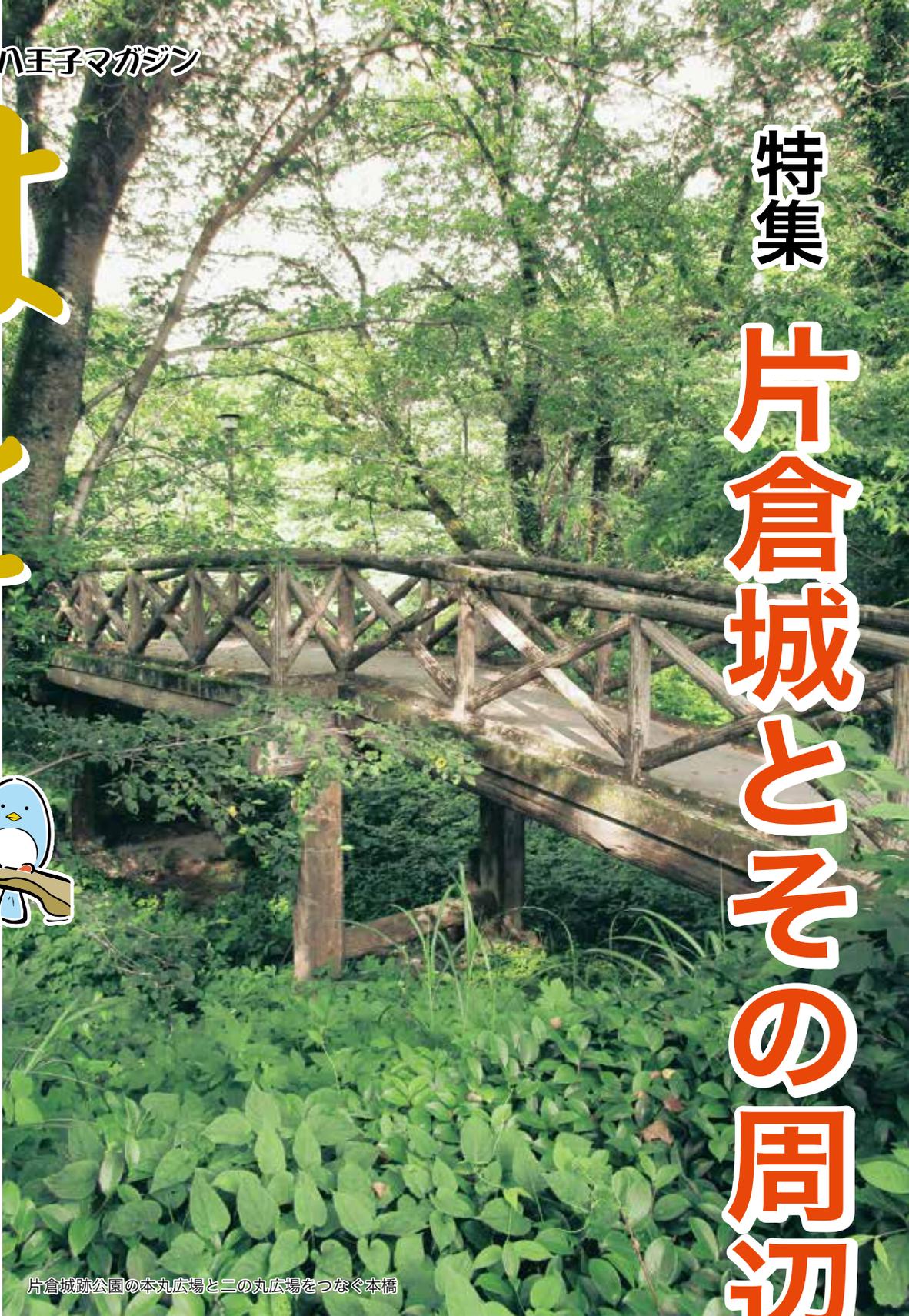


2022年 清風号

# No.52

## Take Free

〈ご自由にお持ちください〉



片倉城跡公園の本丸広場と二の丸広場をつなぐ本橋

# 特集 片倉城とその周辺

大河ドラマの登場人物が八王子にも?!

## ドラマが生まれる片倉城

カメラ片手に出かけよう

## 片倉城跡公園のフォトスポット

周辺を気ままに散策しながら……

## 片倉城跡公園周辺の気になるあのお店

元気印の市民団体紹介

コラム 八王子の民俗誌⑧

コラム 八王子自然探訪④

私の本はこうして生まれた 其の五十二

NPO法人 著作権協会

相模大山の信仰 ― 御神酒粋と小太刀 佐藤 広

片倉城跡公園周辺

粕谷 和夫

『ダカール大学客員教授 セネガル滞在日記』 鈴井宣行 著

片倉城跡公園は、中世の城跡と豊かな自然環境が残る公園です。園内では四季折々の花々などが私たちを和ませてくれますが、何といてもかつて「片倉城」という山城のあった場所として知られています。現在放送中のNHKの大河ドラマ『鎌倉殿の13人』の登場人物とも深い関わりがある片倉城の歴史とは？ まずは片倉城築城から現在に至るまでの「片倉」の変遷を見てみましょう。

— 大河ドラマの登場人物が八王子にも?! —

# ドラマが生まれる 片倉城



## 片倉の地に城を築く

平安時代末期から鎌倉時代初期にかけて、八王子市域を支配していた武士団の1つに横山党があり、片倉地域は横山氏が所領していました。ところが、源頼朝の死後に起こった幕府の内紛で和田義盛に加担した横山氏は、執権であった北条義時打倒のクーデターを起こしたものの敗北し、滅亡してしまいます。幕府に没収された横山氏の領地は、戦いに功績のあった鎌倉幕府初期の重臣、大江広元（1148～1225）に与えられました。ただ、大江氏はこの地に住んでいたわけではなく、代官を置いて年貢の収集にあたり

ていたようです。その後、鎌倉時代から室町時代にかけて、現在の八王子市域では大江広元の子孫である長井氏のほか、由井氏、河口氏などが莊園を基盤とした勢力をもっていました。

片倉城のあった場所は、かつて「片倉山」と呼ばれていました。「倉」は傾斜地や崖を表していて、片方の倉を意味する「片倉」は、この周辺の地形に由来しています。片倉城は湯殿川と兵衛川に挟まれた小高い丘を利用して、長井氏が築いたといわれています。



## 長井氏と片倉城

長井氏は、羽州（山形県）置賜郡の米沢を拠点としていましたが、138

0（康暦2）年に伊達氏の侵攻を受けます。そのとき、大江広元が譲り受けていた横山庄に逃亡したのが長井道広ではないかと、山田町の広園寺や初沢町の高乗寺の法名から推測されています。この人物が最初に片倉の地に居を構えたといわれていますが、法名などで、長井道広なのか定かではありません。

築城主体や年代を正確に特定するのは困難ですが、片倉城は他の中世城郭との比較から15世紀後半以降に築城されたようです。北条氏照が浄福寺城から滝山城へ移ってきたと考えられる1563（永祿6）～67年の間には片倉城の大改修が施されました。その後、氏照の所領における出城の1つとなりましたが、八王子城が落城したところ、16世紀代に廃城となったと推定されています。



## 住吉神社の算額

片倉城跡公園のもう1つの歴史的見所に、住吉神社があります。もともと摂津国（大阪市）の住吉大社を勧請したもので、長井氏、または長井氏の一族の毛利師親が、城の鬼門除けに建て



▶住吉神社の手水舎に刻まれた一文字三つ星の紋

▼住吉神社の算額（レプリカ）



たと伝えられます。建物のそこかしこに見られる一文字三つ星は、大江氏（長井氏）、そして毛利氏の家紋として知られています。これは大江氏の祖先が平城天皇の第一皇子で一品の位にあり、一品親王と呼ばれたことから、「一品」の文字を圖案化したものと伝えられています。

また、住吉神社には、「算額」という文化財があります。算額とは、和算（江戸時代の日本で独自に発達した数学）の問題を解いた答えを木の額に

して、神社や寺に掲げたもので、市内では住吉神社しか現存しません。1851（嘉永4）年に片倉村の川幡元右衛門とその門人たちが、和算の実力がつくようと願いを込めて奉納しました。住吉神社の算額は、横138センチ、縦43センチの大きさで、2011年に市指定有形文化財となりました。



### 戦争の時代に

時は下って、太平洋戦争の時代にも片倉城は大きな影響を受けました。敗戦間際の片倉城跡には、戦争にかかわる設備が配置されるようになり、周辺住民は自由に行き来できなくなってしまうました。城跡の入口には歩哨が立ち、中の畑にも行くことができなくなりましたといえます。1945（昭和20）年4月には敵の航空機を照らし出す航空灯という機械が設置され、物々しい戦時体制が敷かれるようになりました。

また、樹珠寺の裏山に壕を掘って本部としていた軍の部隊は、住吉神社社殿の裏手に防空壕を掘って住吉神社に駐屯し、敵を迎え撃つための陣地づくりをしていました。このときの防空壕の跡は現在も残っています。ほかにも城跡の空堀にはカムフラージュの施設をつくって、本土決戦に備えていたといえます。



### 市立公園として整備

戦後、園内が整備され、1972年3月に片倉城跡公園が開園しました。1987年の調査では、樹木107種、草花95種が確認され、その自然豊かな雰囲気を残して整備されたところに特徴があります。

園内に、新たな彩りを加えたのが「彫刻」です。長崎市の平和祈念像の制作で有名な彫刻家の北村西望（1884～1987）が、八王子市の「彫刻のまちづくり」事業に共鳴し、自身の作品や西望賞（日本彫刻会主催の日彫展特別賞）を獲得した彫刻家の作品を展示することになりました。現在も19基の彫刻が並べられています。

1999（平成11）年、片倉城跡は東京都指定文化財（史跡）に選定され、2001年に八王子八十八景、2017年には八王子景観100選に選ばれました。2013年度には公園区域が拡張され、駐車場が整備されるとともに、エントランスをはじめとした施設がリニューアルされています。

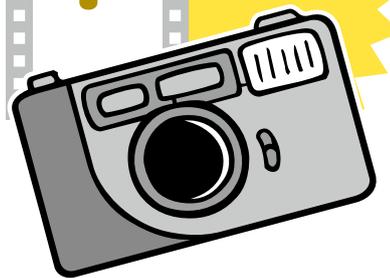
周囲の宅地開発が進む中で、片倉地域の象徴であり続けた「片倉城」。関連する文化財に加えて、豊かな自然や芸術作品など、さまざまな魅力を詰め込んだ公園として発展を遂げています。



▲航空写真（右側の木々が茂る部分が片倉城跡公園、左側の広場は片倉つどいの森公園）

# 片倉城跡公園の

## フオトスポット



片倉城跡公園の総面積は約6ヘクタール。かつての山城としての史跡はもろろんのこと、雑木林が茂り、湧水も流れる豊かな自然環境から、早春にはカタクリ、春にはサクラ、初夏にはハナシヨウブなど、季節ごとの見どころも盛りだくさんです。そんな園内の風景を写真に収めてみました。あなたもおすすめスポットを探してみませんか？



マンホールを  
見つけよう！

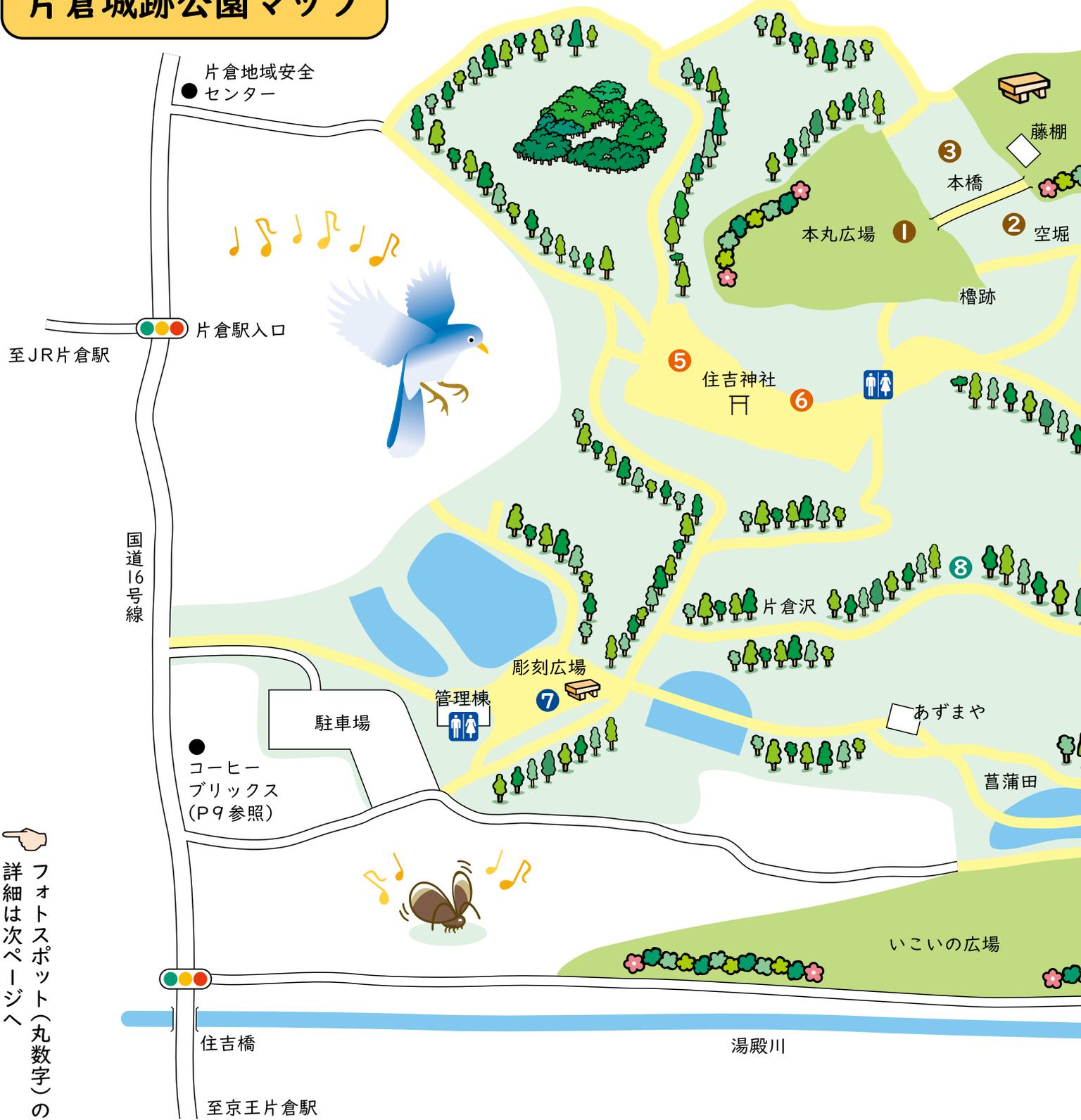
JR片倉駅から片倉城跡公園までは徒歩約6分。その間には、6パターン、計12枚の片倉城跡公園の特徴を表したマンホールがあります。公園に辿り着くまで、左の絵柄を見つけたら、□にチェックしてみましょう。全部見つけられるかな？

スタート

JR片倉駅



# 片倉城跡公園マップ



フォトスポット(丸数字)の  
 詳細は次ページへ

